

岩国労働基準監督署では、毎年公共工事発注機関と連絡会議を行っており、今年度は令和8年5月22日に、岩国労働基準監督署内で実施しました。



建設工事関係者連絡会議の様子

署長の佐治康弘より着任の挨拶と、令和8年度山口労働局の重点施策に基づく山口労働局、岩国労働基準監督署の取組について説明しました。署長から公共工事発注機関に対し、労災かくしの撲滅と、賃金引上げや社会情勢の変化に合わせた適切な発注金額の設定を求めました。

また安全衛生課長の田中貢一より、安全衛生の確保に必要な工期の設定、設計の実施、施工条件の明示等、工事が安全に行われるためには発注者の配慮が重要であることを呼びかけました。

このほか、安全衛生に関連するお知らせとして、職場における熱中症対策の強化、「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」、足場からの墜落防止措置が強化されたことなどをお知らせし、関係事業場に対する周知への協力をお願いしました。

関連HP・リーフレット等

- [1. 令和8年度山口労働局の重点施策\(パンフレット\)](#)
- [2. 安全な建設工事のために 適切な安全衛生経費の確保が必要です\(リーフレット\)](#)
- [3. 足場からの墜落防止措置が強化されます\(リーフレット\)](#)
- [4. 職場における熱中症対策の強化について\(厚労省リーフレット\)](#)